

# 千葉県のご供給・献血状況

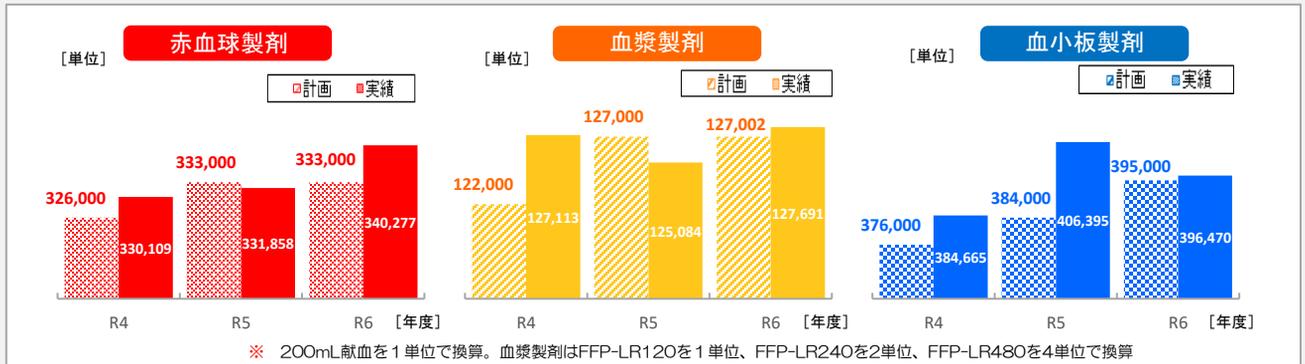
## 令和6年度の概要

千葉県内の輸血用血液製剤の需要は令和2年度から増加傾向が続いており、令和6年度は延べ864,438単位（対前年度比100.1%）を県内医療機関にお届けしました。

この需要に対応するため、県内6カ所の献血ルームと10台の献血バスで延べ**238,705名**（同103.9%）の皆さまに献血のご協力を頂きました。医療機関からの需要が高い400mL献血や成分献血を中心としたご協力と、献血ルーム等における予約献血の定着がより一層の安定供給につながりました。新型コロナウイルス感染症が、感染症法上2類相当から5類へ移行したことで、一時中断していた企業や団体・学校での献血実施や広報イベントも再開し、多くのご協力を頂き医療機関に遅滞なく血液をお届けすることができました。

年齢別の献血状況は20代～40代が減少しています。安全な輸血用血液製剤を安定的に医療機関へお届けするため、これからの献血を支える若年層の方々をはじめ、引き続きより多くのご協力が必要となります。

## 輸血用血液製剤供給状況（過去3年間の状況）



令和6年度の輸血用血液製剤需要は、血小板製剤は若干減少しましたが、赤血球製剤・血漿製剤では引き続き増加しております。

## 献血状況と供給状況

区分	献血状況 [人]			供給状況 [単位]			
	令和6年度 目標数	実績数 (対計画比[%])	対前年度 実績増減数	令和6年度 計画数	実績数 (対計画比[%])	対前年度 実績増減数	
400mL献血	153,079	158,985 (103.9%)	1,001	赤血球製剤(400mL献血由来)	328,308	335,472 (102.2%)	8,130
200mL献血	3,906	5,828 (149.2%)	▲13	赤血球製剤(200mL献血由来)	4,692	4,805 (102.4%)	289
血漿成分献血	44,836	49,700 (110.8%)	3,771	血漿製剤	127,002	127,691 (100.5%)	2,607
血小板成分献血	27,881	24,192 (86.8%)	▲2,079	血小板製剤	395,000	396,470 (100.4%)	▲9,925
合計	229,702	238,705 (103.9%)	2,680	合計	855,002	864,438 (101.1%)	1,101

医療機関需要の高い400mL献血および血漿成分献血に多くのご協力をいただきました。

県内医療機関の需要に対し、不足することなく輸血用血液をお届けすることが出来ました。なお、事前予約による献血へのご協力が輸血用血液の安定確保につながりました。

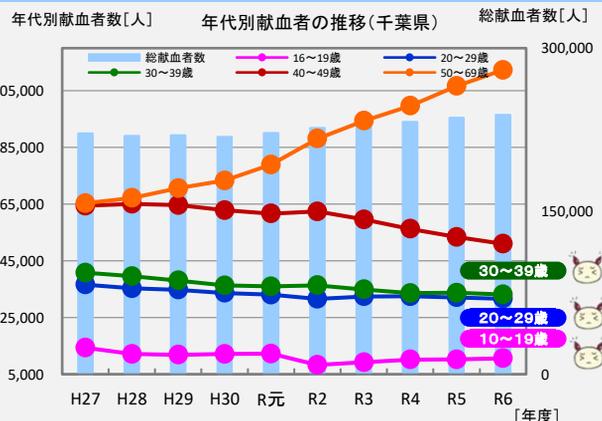
## 年代別献血状況

千葉県では、若年層(10代～30代)の献血者数が10年前に比べて約17.8%減少し、近年では横ばいの状況が続いています。引き続き今後の献血基盤となる若年層にご協力をお願いするため、大学・専門学校・高等学校等における献血実施、献血セミナーの開催、献血ルームにおける職場体験やキャンペーンなどを通じて、献血の普及啓発を行って参ります。

### 若年層(10代～30代)の献血者数

平成27年度 91,780人 → 令和6年度 75,411人

10年で約17.8%減少



## 令和7年度供給計画・献血目標

千葉県内の令和7年度の供給計画数は、近年の県内医療機関の輸血用血液製剤の需要動向、輸血用血液製剤の供給予測数及び血漿分画製剤の製造に必要な原料血漿の当血液センター確保制当量を基本として策定しました。

献血目標数は医療機関からの需要の高い400mL献血、高単位血小成分献血(分割血小板)および分画製剤製造用血漿成分献血に重点を置いており、**供給計画数 869,000 単位、献血目標数 237,303人**と決定しました。

令和7年度供給計画 [単位]					令和7年度献血目標 [人]				
区分	令和7年度 計画数	令和6年度 計画数	増減	増減比(%)	区分	令和7年度 目標数	令和6年度 目標数	増減	増減比(%)
全血製剤	0	0	0	-	400mL献血	157,604	153,079	4,525	103%
赤血球製剤	340,000	333,000	7,000	102.1%	200mL献血	3,810	3,906	▲96	97.5%
血漿製剤	129,000	127,002	1,998	101.6%	血漿成分献血	51,078	44,836	6,242	113.9%
血小板製剤	400,000	395,000	5,000	101.3%	血小板成分献血	24,811	27,881	▲3,070	89.0%
合計	869,000	855,002	13,998	101.6%	合計	237,303	229,702	7,601	103.3%

令和7年度計画数は、医療機関需要動向から需要増加に伴い、令和6年度計画数も増加しています。

昨年度に引き続き血小板成分献血及び400mL献血の目標数は増加しています。血漿成分献血についても、免疫グロブリン製剤の需要増加により、千葉県内の目標数も増加しています。

## 献血の輪が広がりますように

輸血用血液の多くは「がん」や「白血病」等の病気の患者さんの治療に使用しております。患者さんが安心して輸血医療を受けられるよう、より多くの皆さまのご協力をお願いいたします。

### Q. いつも献血のお願いをしているのは、なぜ?

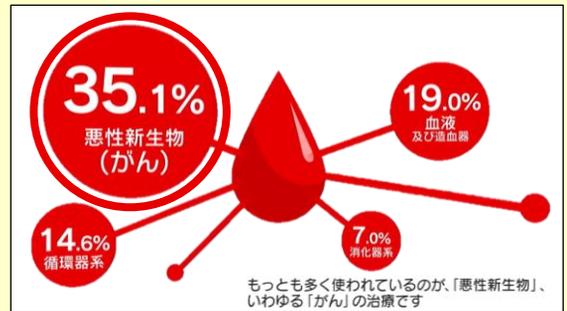
A. 病気の治療では、1度で数人分の血液を使用したり、定期的な輸血が行われることから、**1人の患者さんを何人もの献血者で支えています。**

一方、安全面を考慮し1人の方から短期間に何度も献血にご協力いただくことはできません。また、輸血用血液には有効期間(※)があり、長期保存が出来ないことから、継続的なご協力をお願いしています。

※ 輸血用血液製剤有効期間

【赤血球製剤】採血後28日間 【血小板製剤】採血後4日間

※令和7年度内に採血後6日間に変更予定



出典：東京都保険医療局(2022年)調べ

## 輸血治療を経験された方から寄せられたメッセージをご紹介します

### 献血者の皆様へ

血液のがんの治療で週に2回大学病院に通っています。今の私は輸血が欠かせない状態で、皆様の善意に支えられて生きています。皆様のあたたかい思いやりで心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

50代女性

### 最愛の家族に会える喜び

私は子どもが0歳の時に白血病になりました。治療中は“子どもにもう会えないかもしれない”と何度も涙を流しました。輸血をしないと生きることができない期間もあり、輸血もしながら治療し無事退院できました。最愛の子どもに会うことができたのは皆様のおかげです。救っていただいた命を大切にしていきます。献血ありがとうございました。

30代女性

## 献血ルームのご案内



献血ルーム 受付時間  
[成分献血]10:00~12:00/14:00~17:00  
[400・200mL]10:00~13:00/14:00~17:30  
[定休日]年末年始

運転免許センター 献血ルーム受付時間  
[400・200mL]9:00~13:00/14:00~16:30 ※日曜日~16:10  
[定休日]毎週土曜日、祝日、年末年始  
※運転免許センター献血ルーム(千葉市)では、成分献血の受入は行っておりません。